

中国の高齢者人的資源開発の背景、状況 及び対策について

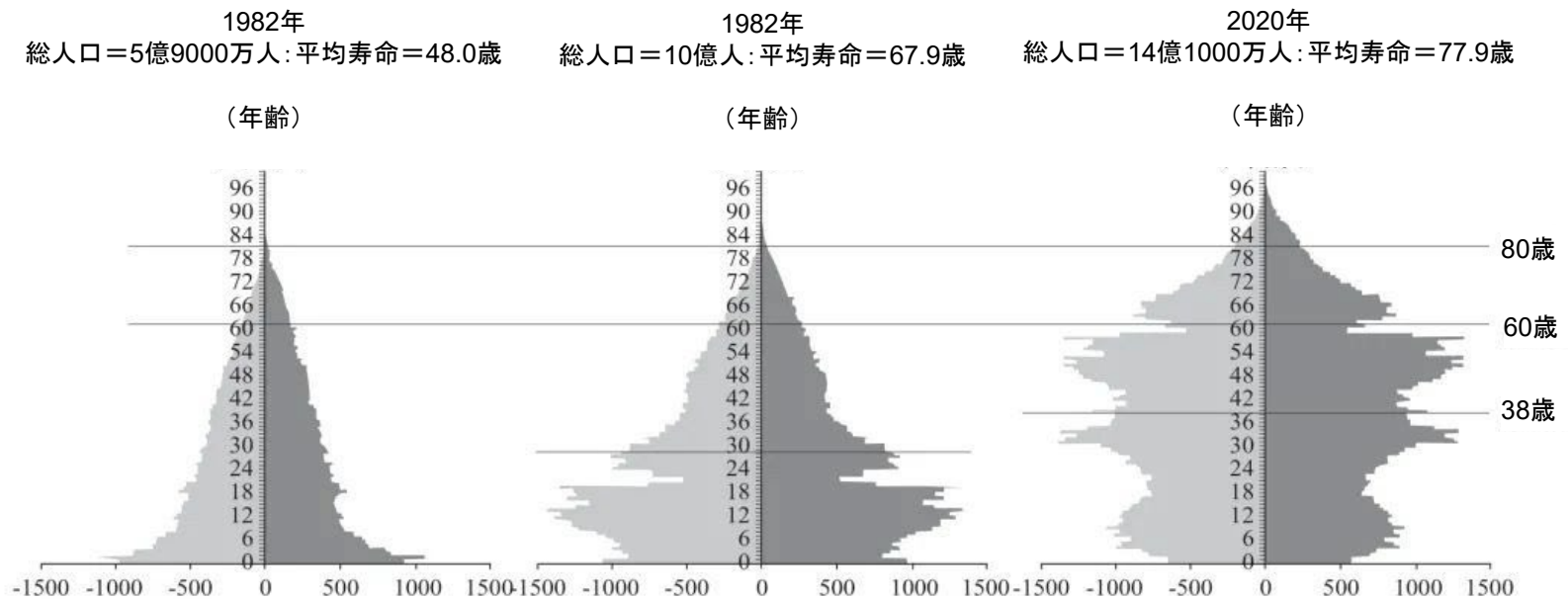
中国労働社会保障科学研究院

殷 宝明(イン・バオミン)

- 中国の高齢化の特徴
- 中国の高齢者人的資源開発の足下の状況と課題
- 中国の高齢者人的資源開発の特徴
- 対策と提案

中国の高齢化の特徴

- 中国では2020年時点で、60才以上の高齢者が総人口に占める割合は10.45%、65才以上は6.96%であった。
- 2023年時点では、60才以上が21.1%、65才以上は15.4%であった。



➤ 急速な高齢化

中国では、高齢化社会に突入してから中度高齢化社会に至るまでの期間は21年であった。しかし、フランスでは126年、イギリスでは46年、ドイツでは40年、日本では24年を要している。中国は、2030年頃までに高度高齢化社会となると予想される。

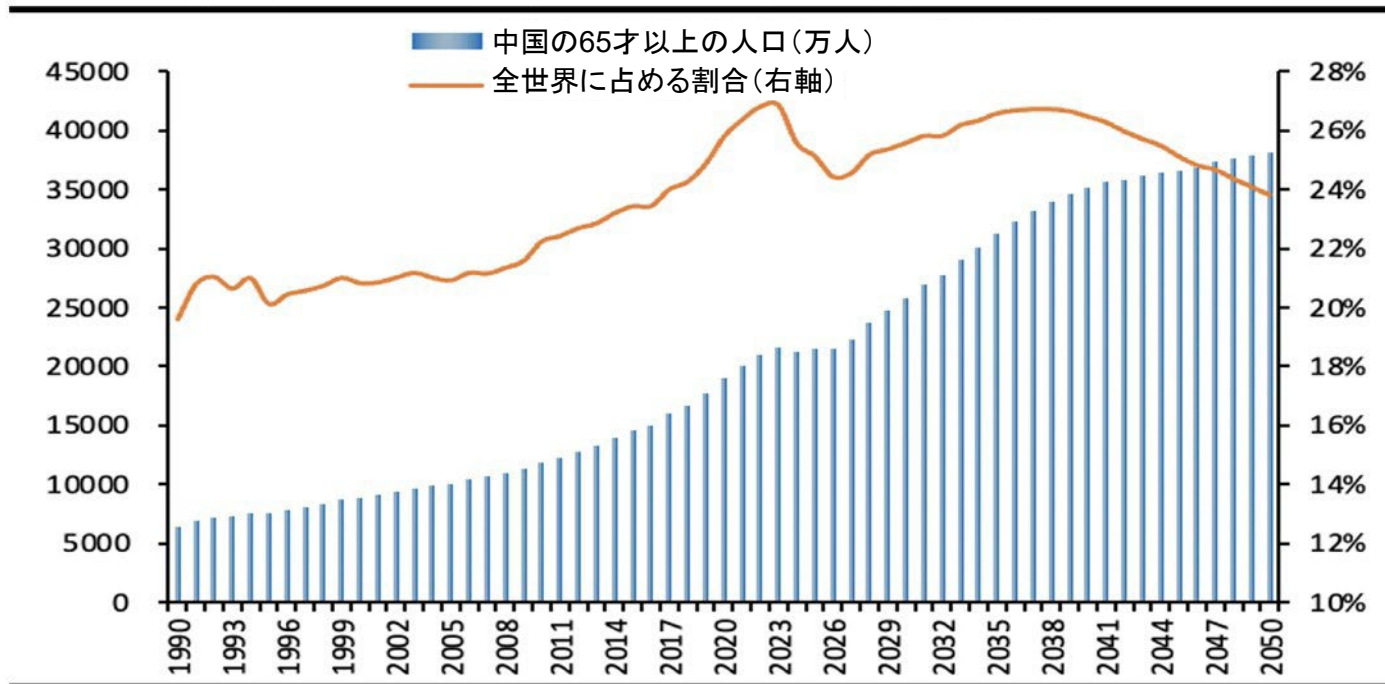
図表：主要国の高齢化率と高齢化の速度

国名	高齢化率(年)			高齢化の速度(年)	
	7%	14%	20%	7%-14%	14%-20%
中国	2000	2021	2032E	21	11
米国	1941	2013	2029E	72	16
ドイツ	1930	1971	2007	41	36
フランス	1864	1990	2018	126	28
英国	1929	1975	2025E	46	50
スペイン	1947	1991	2022	44	31
イタリア	1927	1988	2006	61	18
スイス	1887	1971	2019	84	48
日本	1970	1994	2005	24	11
韓国	2000	2018	2025E	18	7
インド	2023	2048E	2063E	25	15

➤ 高齢者人口の多さ

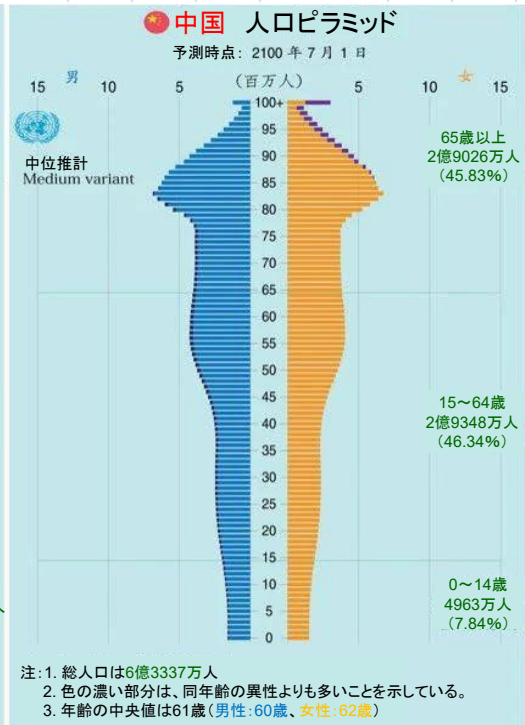
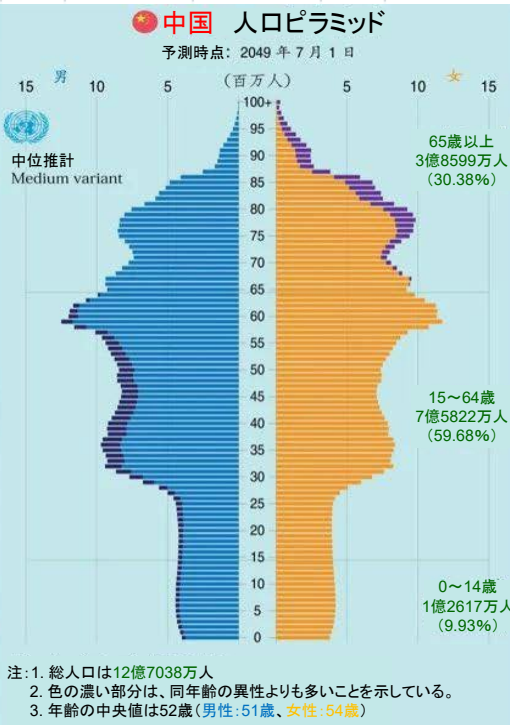
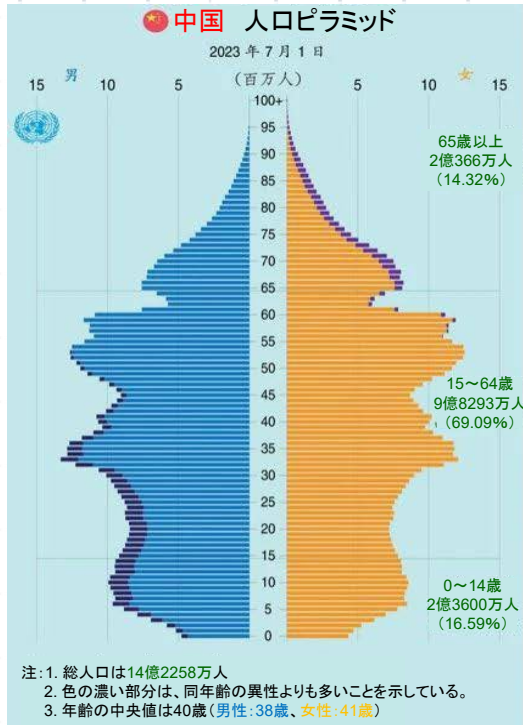
中国は世界で高齢者が最も多い国である。65才以上の高齢者はおよそ2.2億人と、世界の高齢者人口の4分の1を占めている。

図表：世界の高齢者の4人に1人が中国人



➤ 高齢化サイクルの長さ

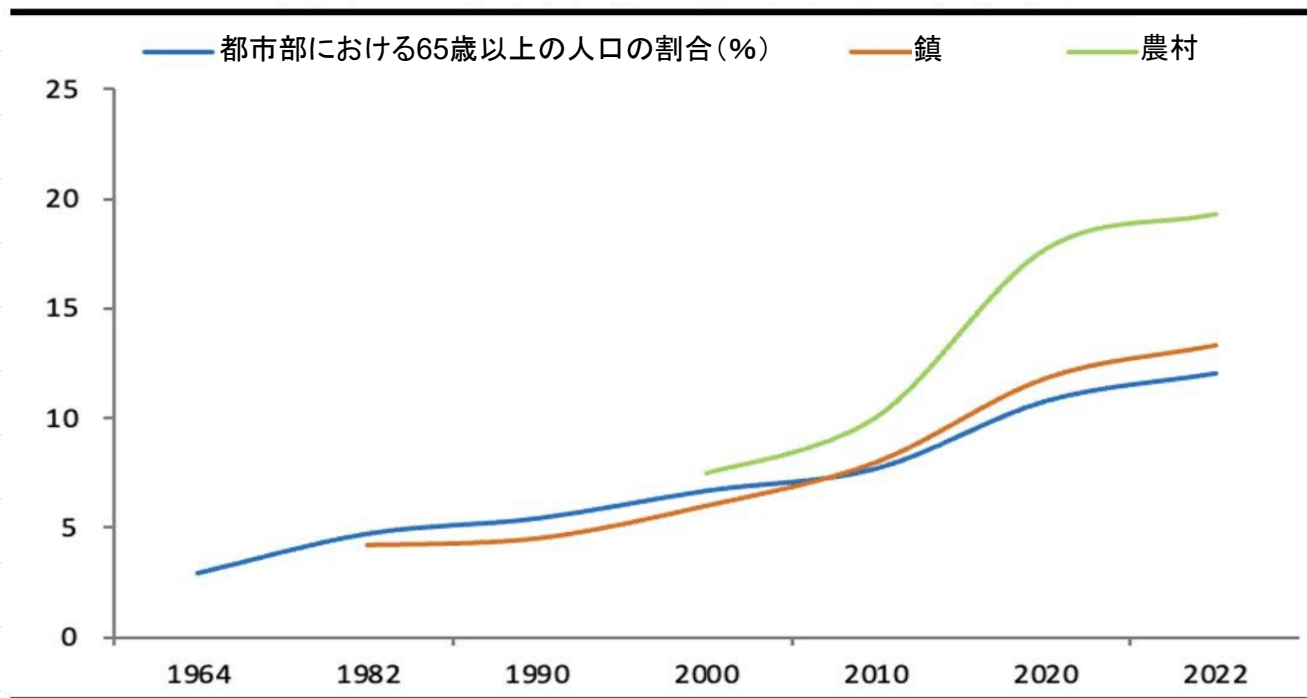
中国の2023年時点の65才以上の高齢者の扶養率は22.5%であった。2030年には27.3%に、2050年には52.4%に増加する見込みである。



➤ 都市部と農村部の格差の大きさ

中国の都市、鎮(町)及び農村における高齢者の割合は、2022年時点でそれぞれ12.0%、13.3%、19.3%であった。

図表: 拡大する都市部と農村部の高齢化の差



➤ **未富先老**（経済成長がピークを迎える前に高齢化による衰退が始まる）

- 2023年の中国の平均寿命は78.6歳と、高所得国やOECD諸国の平均に近づいている。
- 2023年の中国の1人当たりGDPはおよそ1.3万ドルであった。同程度の高齢化水準にある米国、日本、韓国の1人当たりGDPは、それぞれおよそ6.3万ドル、3.9万ドル、3.2万ドルである。



□ 中国の高齢者人的資源開発の足下の状況と課題

- 中国の60歳以上の高齢者に占める低年齢高齢者(60～69歳)の割合は、2020年に55.83%に達し、およそ1.5億人となった。
- 5000万人を超える低年齢高齢者(60～69歳)の再就業者数は、全就業者数のおよそ7%を占め、うち3分の2は農林牧漁業に従事している。
- 中国のおよそ3億人の農村からの出稼ぎ労働者のうち、50才以上の労働者の割合は、2023年時点で30%を超えている。



➤ 都市部と農村部での高齢者の主な収入源の大きな格差

- 中国では、定年退職金・養老年金により生計を立てている高齢者の割合は、都市では7割近くとなっているが、鎮(町)では31.8%、農村では10.4%である。
- 中国の農村では、高齢者のおよそ33.6%は自らの労働により収入を得ているが、都市では7.3%、鎮(町)では19.7%である。
- 中国では、家族に扶養されている高齢者は、農村では鎮(町)より多く、鎮(町)では都市より多い。割合としては、農村では41.9%、鎮(町)では37.2%であるが、都市では17.3%に過ぎない。



➤ 「機械による代替」が低技能の高齢労働者に与える衝撃

- 中国の従業員1万人当たりのロボット密度は、この10年間で25台からおよそ20倍増加し、470台となった。
- 2023年に中国で新規に稼働した産業用ロボットは27.63万台と、全世界の新規稼働台数の51%を占めている。
- 2023年の中国の産業用ロボット保有台数はおよそ180万台と、全世界の42%を占め、世界第1位となっている。
- 中国では無人運転のネット配車サービスが、北京、上海、広州、武漢等の都市で実施されている。



➤ 新技術の応用がもたらす二重の課題

- 技術の進歩は、これまでに蓄積した知識を無用のものとしてしまう。その一方で、技術の進歩により、高齢者的人的資源開発の効率を向上させることができる。
- 2024年9月の中国における新エネ車の販売台数は、前年同期比50.9%増の112.3万台となり、販売台数は2か月連続で100万台を突破した。
- 2024年5月、武漢大学中南病院の専門家が、1200キロ離れた場所にいる患者に対し、ロボットによる遠隔手術を行った。



□ 中国の高齢者人的資源開発の特徴

- 工業化と高齢化の同時進行
- 多数の低年齢高齢者(60~69歳)と多数の新規労働力の併存
- 技術の急速な発展と能力の低い高齢労働者の併存
- 全体的な高齢化と都市部と農村部との格差の並存

□ 対策と提案

➤ 公平な雇用環境

- 年齢による差別に対処するための法律の整備
- 公平な社会保障制度
- 労働保障権益の保護



➤ 持続的な教育研修

- 人的資本への基礎投資
- ライフサイクルを通じた職業技能の研修
- 新技術の活用による高齢者人的資源開発の効率の向上



➤ 高齢貧困の防止

- 技術の進歩がもたらすプラスの効果の拡大、マイナスの効果の抑制
- ブルーカラーとホワイトカラーの対立の防止
- 雇用支援の強化



➤ アクティブ・エイジング

- 労働者に自ら選択する権利を与え、意欲があり、能力がある高齢者が自らの価値を発揮できるようにする
- 個人の価値・ニーズの実現により、高齢者人的資源を開発する



ありがとうございました！